



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和6年 12月25日
豊玉中学校だより No. 19

【E-mail】shimura.osamu@nerima-ky.ed.jp

【URL】<https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

最も長い2学期も本日で終了し、明日からは冬休みに入ります。12月に入り、長い残暑が嘘のように、秋をすっ飛ばして、日に日に冷え込みが厳しくなってきました。先日は本校でも学級閉鎖を行うなど、感染症の流行が懸念されています。ぜひご自愛ください。

さて、令和6年も残すところあとわずかとなりました。振り返ってみると、特に文化発表会での感動的な合唱や、校外学習では思いやりの心を持ち、協力して成功させた班行動の姿などが思い出されます。どの取組も生徒同士の話し合いの中で主体的に活動することができ、大きく成長し、素晴らしい成果を上げることができました。保護者の皆様には、様々な場面でご来校いただき、また学校へのご協力を深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

冬休みには、ご家庭で通知表をもとに、学習や学校生活についてお話いただき、新たな年、進学、進級前の準備期間である3学期に向けて、心構えを新たにさせていただけると幸いです。今後も、教職員一同、生徒たちの成長のために尽力してまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。来る新年が、皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和6年度2学期終業式

～ 12月25日終業式における校長講話より～

おはようございます。3つの学期の中で最も長い2学期が本日終了します。ここ数年毎年のことですが、夏の猛暑が10月まで続き、秋の訪れを感じることもなく、11月には木枯らし一号、12月には初雪と、例年より寒い冬となりました。寒暖差の大きいのも影響しているのか、コロナ感染症、インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎の流行から、トリプルデミックが懸念されています。本校でも感染症による学級閉鎖がありました。私自身も年のせいか12月になって体調を崩すことが多く、規則正しい生活と手洗いうがいを確実に行わなければならないと感じています。ただ、大きな事故や事件なく終業式を迎えられたことがとてもうれしく、ありがたく思っています。

令和6年を振り返ると、元日に能登半島地震が起これり、同じ能登で9月には豪雨による災害、現在では警報級の雪と、日常生活を送ることができない方々が多くいます。一日も早い復興を祈るばかりです。その能登地震では、地震による直接死で亡くなられた方より、関連死で亡くなった方の数が多くなってしまいました。災害は防ぐことができません。いつ、どこで起こるかわかりません。そのため、備えをしっかりとしておくこと、災害の後自分たちで何ができるのかを考えることが大切になります。毎月の安全指導や避難訓練から学び、先を見通した減災に取り組んでいって欲しいと思います。

さて、学校に目を移すと、この2学期は素晴らしい学期だったと感じています。順番はばらばらですが、各学級が計画委員会を通してみんなで作り上げた合唱に感動し、3年の修学旅行や2年、1年の校外学習での、互いのことを考え協力して班行動を成功させた姿に感銘を受けました。また、様々なボランティア活動や2年の福祉体験など、地域の方から感謝される度に皆さんを誇りに思いました。他にも文化発表会や校内ダンス発表会などもあり、豊玉中学校の生徒の「すごさ」を感じた2学期でした。

<裏面に続く>

今日は最後に「あそび」というテーマで話をしたいと思います。

「あそび」と聞くと、皆さんは友達と遊んだり、ゲームをしたりすることを思い浮かべるかもしれませんが、もちろんそれも「あそび」なのですが、今から話す「あそび」は少し違う意味合いをもっています。例えば、自動車を運転するとき、ハンドルには「あそび」があります。ハンドルを少し傾けただけではすぐにタイヤが動くわけではありません。運転中に少し手が動いてしまったり、石や轍といった路面のわずかな変化があったりしたときに、急に曲がらないようにするための安全装置なのです。もしハンドルに「あそび」、つまり「余裕、ゆとり」がなければ、少しのことで自動車が大きく動いてしまい、大変危険です。自動車のブレーキにも「あそび」があります。足のわずかな動きや少し踏んだだけでは、すぐにブレーキがかかるわけではありません。急ブレーキを防ぎ、スムーズに減速し、車内で快適に過ごすための重要な仕組みになっているのです。皆さんが普段使っている自転車のブレーキも同じです。急ブレーキがかかってしまったら、体が自転車の前方に飛ばされてしまうこともあります。

もう一つ、様々な機械には、回転軸を支える軸受という部品があります。この軸受は、軸がスムーズに回転するのに重要な役割を果たしています。その軸受と軸には、わずかな「あそび」があります。「あそび」がないと、摩擦による熱によって膨張し、動かなくなってしまいます。これを「焼き付き」と呼びます。また、潤滑油は軸と軸受の間に入り込んで摩擦を減らす役割をもっていますが、「あそび」がないと、潤滑油が入り込む隙間がなくなり、焼き付きを起こしてしまいます。つまり、軸受の「あそび」は、熱膨張や潤滑油の役割を考慮し、機械が正常に動き続けるために必要な「余裕、ゆとり」なのです。また、機械には歯車が使われていることがたくさんあります。歯車同士がかみあうことで動力を伝えます。この歯車にもわずかな「あそび」があります。これを「バックラッシ」と呼びます。もし歯車に「あそび」がなかったら、歯車同士が激しくぶつかり合い、すぐに摩耗してしまったり、スムーズに回転できなくなったりして、機械全体の動きに影響が出てしまいます。この「バックラッシ」も、歯車の摩耗を吸収したり、スムーズに回転したりするために必要な「余裕、ゆとり」なのです。

このように、自動車や機械の世界では、「あそび」は単に無駄なものではなく、自動車や機械が安全に、正常に作動するために欠かせない要素になっているのです。

これは私たちの心や時間にも同じことが言えると思っています。もし皆さんの心が常に緊張し、一杯一杯で、時間に全くの「あそび」がない状態だったらどうなると思いますか？常に時間に追われ、焦りを感じ、心身ともに疲れてしまうでしょう。機械の焼き付きのように心が動かなくなり、疲弊してしまうでしょう。また、人間関係においても「あそび」がなければ、気持ちと気持ちがぶつかり合い、争いごとになってしまうかもしれません。

逆に、心にゆとりをもち、時間の余裕をもつことで、心身ともにリラックスできるなど、先へ進む意欲や新たなことに挑戦する意欲が湧いてくるのです。人と接するときも、気持ちにゆとりや余裕をもっていれば、不要な衝突を避け、円満な人間関係を築けると思います。ですから、好きなことに没頭したり、何もせずぼーっとしたりする時間も、時に大切な時間となるのです。

冬休みはまさに、心の時間の「あそび」をもつことのできるよい機会です。やるべきことだけを計画に押し込むだけでなく、「あそび」の時間に本当に楽しいと思えることをしたり、新しいことに挑戦したり、今まで我慢していたことを思いっきり楽しんだりしてみてください。そのためにも、先を見て、目標にたどり着くための時間に「あそび」を入れていってください。この冬休みが、皆さんにとって心身のリフレッシュと成長のための有意義な時間となることを心から願っています。そして、新学期にまた元気な姿で会えることを楽しみにしています。

1・2年生ダンス発表会

主任教諭 山口 弘子
保健体育科講師 中島 啓太

ダンス発表会が終わった今、改めて感じたのは「生徒の力は凄い」ということです。

1年生は、短い授業時間の中で、初めての創作ダンスで戸惑いながらも話し合いを通して、必死に創作をしていました。そのような過程を経て、9チームのすべてが「元気ではつらつとした1年生らしい作品」となりました。皆さんの短期間での「ものすごい成長」をととても嬉しく思っています。

一方で、2年生。2年生の今年のテーマは「明るく元気でユーモラスな作品」だったので、どんな楽しい作品を創作するのか、すごく楽しみにしていました。どの学級もリーダー中心に、男女仲良く協力しながら楽しんで作っていました。それぞれの学級が、個性を発揮し、私の期待を遥かに超えた素晴らしい作品で、もっともっと観ていたいと心から思える作品でした。

生徒の皆さんお疲れさまでした。そして、ありがとう。（山口）

私自身、豊玉中学校での初めてのダンス発表会。素晴らしかったの一言に尽きます。

1年生も2年生もたくさんの苦勞・苦悩があったと思います。されど皆さんは、よく話し合い、よく動き、協力し合いながら必死に練習を積み重ねていました。そして、本番では全員が練習以上の力を発揮していて、皆さんから大きな感動をいただきました。

1, 2年生のみなさん本当にお疲れさまでした。今回の活動を通して、人を感動させるに至る様々な「素敵な学び」を得たのではないのでしょうか。この経験をぜひ、これからの人生にも活かしてほしいと思っています。素敵な時間をありがとう。（中島）

模範演技をしてくれた堀越高等学校のダンス部の顧問の先生方からも「素晴らしい!」のお褒めの言葉をいただいています。



参観された保護者の感想 (一部抜粋)

自分ができる精一杯の表現を堂々と披露するダンスです。

*どのクラスもととても楽しく観させていただきました。

2年生、あれを自分たちでやったのはすごいです!!

*今日は仕事のため、自分の子供の時間までしか居られませんでした。1年生でも頑張っグループでたくさん練習して、大人たちの前で堂々と踊ってくれていて、とても素敵でした。

*とても感動しました!素敵な時間をありがとうございました。

*男女共に、堂々と演技していたことが印象的でした。また、話を聞く様子も素晴らしく、自発的に静かにしており、さすが中学生だと思いました。

～ 1年校外学習～

教諭 坂元 大輔

12月17日（火）、1年生による川越校外学習が実施されました。中学校に入学後、初めての校外学習ということもあり、コースづくりなどの話し合い活動に苦戦する様子も見られましたが、学活や総合の時間を活用しながら、しっかりと学習を深めることができました。当日の朝は、練馬駅に集合し、班ごとに電車で本川越駅へと移動し、喜多院や氷川神社、博物館など見学場所へと向かっていきました。計画通りに進行することが難しい班もありましたが、自分たちで時間を調整しながら、様々な見学場所を巡りました。道に迷ってなかなか見学場所にたどり着けなかったり、見学や体験が長引いて次の見学場所の予定時間に間に合わなかったり、逆に早く終わり過ぎて急遽見学場所を追加したり、遅しく乗りきっていました。そして、本川越駅から練馬駅へ電車で帰って来ました。多くの場所を見学して疲れた様子も見られましたが、とても充実した表情の生徒が多かったです。

生徒だけで行動する中で、友人の想いを受け取りつつ、自分の想いを伝え適切に行動することは、私たち大人が思っている以上に難しいものです。私たち教員の知らない関わり合いや学び合いが多くあったと思います。校外学習で得た経験や成果、反省は、2年生の校外学習、そして3年生の修学旅行で活かせるようにしてほしいと思います。



令和6年も残すところ後一週間となりました。生徒・保護者の皆様にとってはどのような一年であったでしょうか。年始めの能登の大震災に始まり、春先からの猛暑・酷暑の連続、様々な感染症の蔓延。私たちの心や身体は、休む間もなく、もじわじわとダメージを受けた一年であったように思えます。

では、私が受けた最も甚大なダメージは？それは、人としての価値観の著しい変化です。「闇バイト」・「メールを介した詐欺行為」・「あおり運転」等々。どうしてあんな行為が人に対してできるのでしょうか。人を極度の不安に陥れたり、金品を巻き上げたり、人を簡単に殺めてしまえるのはなぜなのでしょう。どうしてできるのでしょうか。

一昔前は、お年玉をもらって、友達と買い物に行ったり、ファストフード店で楽しいひとときを過ごしたり・・・そんな笑顔が溢れる時間に胸をワクワクさせて出かけようとする時、「年始はお年玉を狙った悪い人が声をかけてくることもあるから、繁華街では気を付けるんだよ。遅くならないように帰ってきなさい。」と注意を受けたものでした。

しかし、今の時代はそんな甘い声かけではいけない気がします。「そんなことを言っていたら、どこにも行けないじゃないか。考えすぎ！」と言われてしまいますが・・・。

一方、SNS上で人間の心理を操る巧妙な手口にも気を付けなければいけません。わかっていてもその巧妙さと不安や恐怖をあおる手口に、誤った判断をしてしまうことも考えられます。生徒の皆さん、保護者の皆さん。不安をあおるわけではありませんが、万全の注意をはらって、よい年末年始にしてください。

それでは、1月8日、元気にお会いしましょう。（副校長 志村 修）